

平成23～24 (2011～2012) 年 温室植物の開花結実記録

磯部 実・高井敦雄・竹本香織

はじめに

本園の大温室には約620品種の熱帯・亜熱帯植物、サボテン温室には250品種の乾燥地の植物が植栽展示されている。これまでも新しく開花結実したものや開花結実が数年ぶりである珍しいものについてはマスコミ等に情報提供し、話題づくりに努め、栽培記録に掲載してきた。

以下、平成23～24年にかけて、初めて開花結実したものや数年ぶりに開花結実したものについて記載した。

ワサビノキ (ホースラディッシュツリー)

Moringa pterygosperma

平成14年8月導入後10号鉢に植え、大温室にて栽培展示し、開花は例年ほぼ1年中見られるが、これまで結実はみられなかった。平成23年9月に初めて一果の結実が確認され、長さは約70cmに達した(写真1)。その後翌年の春に完熟後落下した。



写真1. ワサビノキ
(2011年11月14日)

ココヤシ

Cocos nucifera

ココヤシは昭和51年開園当初から大温室に植栽展示され、これまで平成14年に初開花したのち幼果ですべて落下することが続いていたが、平成17年夏に直径20cmに肥大し完熟(褐色化)し、翌年落下したので初めて園内標本が採取できた(栽培記録第27号参照)。その後毎年開花・結実は見られたが成長途中の幼果で落下した。

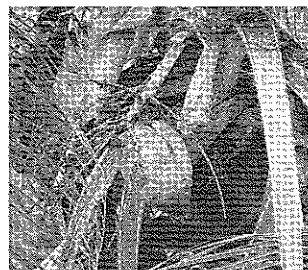


写真2. ココヤシ
(2012年11月30日)

今回は平成23年夏～秋に開花結実したものうち2果が平成24年秋に成果になり、多くの入園者に

見てもらうことができた(写真2)。特に空中散歩では間近に観察することができるので好評であった。11月現在果実表面は緑色で完熟していないが、肥大生長は停止していると思われる。

斑入りウスバリユゼツ (ハクセンコウ)

Agave angustifolia Marginata

サボテン温室のほぼ中央に昭和53年に1株植栽

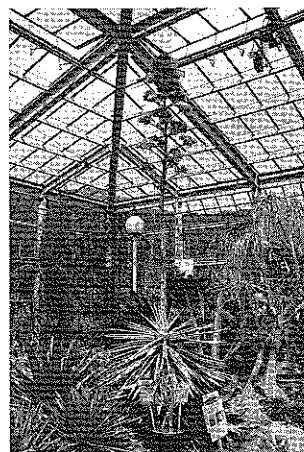
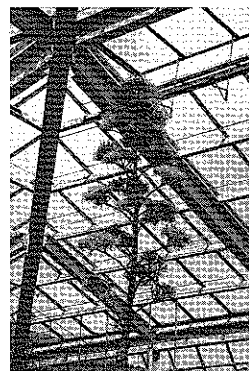


写真3. 斑入りウスバリユゼツ
(2012年7月23日)

展示され、これまで昭和61年に初めて開花し、その後平成6年、平成7年、平成15年に開花し今回で5回目である。今年の開花は5月より抽台を始め、7月9日に草丈約4mまで伸び初花が確認され、8月上旬まで順次花序先端部まで開花が



継続して見られた(写真3、4)。

記者クラブに資料提供したためマスコミの取材掲載があった。

写真4. 花
(2012年7月23日)

フキアゲ

Agave stricta

サボテン温室の正面入り口傍の屋外花壇に植栽展示された株は、平成24年6月より2花茎が抽台を始め、7月下旬に草丈約3mまで伸び開花が確認され、8月下旬までの1か月間開花が



見られた(写真4)。

これまでフキアゲは栽培記録には開花記録がないのため今回初掲載した。

写真5. フキアゲ
(2012年8月24日)